

御利用いただく方へ

本書は、令和2年及び令和2年度中の本県における保健・医療・衛生関係統計を中心に集録しました。

1 本書に用いた主な比率の算出方法

$$(1) \text{出生率} = \frac{\text{年間の出生数}}{\text{10月1日現在のある地域の人口}} \times 1,000$$

$$(2) \text{死亡率} = \frac{\text{年間の死亡数}}{\text{10月1日現在のある地域の人口}} \times 1,000$$

$$(3) \text{死因別死亡率} = \frac{\text{年間のある死因による死亡数}}{\text{10月1日現在のある地域の人口}} \times 100,000$$

$$(4) \text{乳児死亡率} = \frac{\text{年間の乳児(生後1年未満)死亡数}}{\text{その年の出生数}} \times 1,000$$

$$(5) \text{新生児死亡率} = \frac{\text{年間の新生児(生後4週未満)死亡数}}{\text{その年の出生数}} \times 1,000$$

$$(6) \text{自然増加率} = \frac{\text{年間の出生数} - \text{年間の死亡数}}{\text{10月1日現在のある地域の人口}} \times 1,000$$

$$(7) \text{死産率} = \frac{\text{年間の死産数}}{\text{その年の出産数(出生数+死産数)}} \times 1,000$$

$$(8) \text{周産期死亡率} = \frac{\text{年間の妊娠満22週以後の死産数} + \text{年間の早期新生児(生後1週間未満)死亡数}}{\text{その年の出産数(出生数+妊娠満22週以後の死産数)}} \times 1,000$$

$$(9) \text{婚姻率} = \frac{\text{年間の婚姻届出件数}}{\text{10月1日現在のある地域の人口}} \times 1,000$$

$$(10) \text{離婚率} = \frac{\text{年間の離婚届出件数}}{\text{10月1日現在のある地域の人口}} \times 1,000$$

$$(11) \text{罹患率} = \frac{\text{ある疾病の年間届出患者数}}{\text{10月1日現在のある地域の人口}} \times 1,000$$

2 統計表の表章記号の用法

- その事象が出現する可能性をもっているが、統計上出現しなかった場合
 - ・ その事象が出現することは、本質的にありえない場合
 - … 上記以外の統計数がない場合又は統計数を表章することが不適当な場合
- 0.0 表章すべき最下位のけたが1に達しない場合